

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成20年5月15日(2008.5.15)

【公表番号】特表2007-532527(P2007-532527A)

【公表日】平成19年11月15日(2007.11.15)

【年通号数】公開・登録公報2007-044

【出願番号】特願2007-506899(P2007-506899)

【国際特許分類】

A 6 1 K 36/18 (2006.01)

A 6 1 P 13/02 (2006.01)

A 6 1 K 31/496 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 35/78 C

A 6 1 P 13/02 1 0 5

A 6 1 K 31/496

A 6 1 P 31/04

A 6 1 P 43/00 1 2 1

【手続補正書】

【提出日】平成20年3月27日(2008.3.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

腎障害の治療のために従来療法と共に免疫アジュバントとして用いられることを特徴とする医薬の製造における、標準化された *Tinospora cordifolia* 抽出物の使用。

【請求項 2】

腎障害が、ネフローゼ症候群ならびに合併症のある、および合併症のない慢性再発性尿路感染である、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 3】

慢性再発性尿路感染が、再発する細菌感染を原因とするものである、請求項 2 に記載の使用。

【請求項 4】

慢性再発性尿路感染が、再発する大腸菌およびクレブシエラ感染を原因とするものである、請求項 3 に記載の使用。

【請求項 5】

ネフローゼ症候群が、原発性糸球体腎炎によって引き起こされる様々な腎疾患によって起こるものである、請求項 2 に記載の使用。

【請求項 6】

原発性糸球体腎炎によって引き起こされる腎疾患が、膜性増殖性糸球体腎炎／メサンギウム毛細管性糸球体腎炎(MPGN)、巣状分節性糸球体硬化症(FSGS)、巣状増殖性糸球体腎炎(FPGN)、および微小変化ネフローゼ症候群(MCNS)である、請求項 5 に記載の使用。

【請求項 7】

標準化された *Tinospora cordifolia* 抽出物が、従来の抗菌療法と共に、慢性再発性尿路感染の治療において免疫アジュバントとして働く、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 8】

再発性尿路感染のための前記従来の療法が、シプロフロキサシン、オフロキサシン、ノルフロキサシン、トリメトプリムスルファメトキサゾール、アモキシリン、ニトロフラントイン、アンプシリン、およびロメフロキサシンから選択される少なくとも 1 種の抗菌剤の使用を含む、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 9】

標準化された *Tinospora cordifolia* 抽出物が、従来のステロイド療法と共に、ネフローゼ症候群の再発を低減する際に免疫アジュバントとして働く、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 10】

標準化された *Tinospora cordifolia* 抽出物が、従来のステロイド療法の副作用を軽減し、再発率を低下させる、請求項 9 に記載の使用。

【請求項 11】

ステロイドが、プレドニソロンおよびメチルプレドニソロンからなる群から選択される、請求項 9 に記載の使用。

【請求項 12】

Tinospora cordifolia 抽出物が生物検定によって標準化されたものである、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 13】

生物検定が、基底値に対する食作用パーセンテージを求めて生理活性を評価することを含み、その食作用パーセンテージが基底値の少なくとも 30 % 増である、請求項 12 に記載の使用。

【請求項 14】

治療有効量の標準化された *Tinospora cordifolia* 抽出物と、薬剤として許容される担体とを含む薬剤組成物。

【請求項 15】

腎障害の治療のために治療有効量で用いられる、請求項 14 に記載の組成物。

【請求項 16】

治療有効量の標準化された *Tinospora cordifolia* 抽出物が少なくとも 1 種の他の薬草成分と組み合わせられている薬剤組成物。

【請求項 17】

腎障害の治療に用いられている治療薬の有効性を向上させることにおいて有用な医薬の製造における有効量の標準化された *Tinospora cordifolia* 抽出物の使用であって、治療有効量の該医薬が該治療薬とともに投与されるものである使用